

王寺町デジタル人材育成事業【王寺町】

個別事業費	4, 050 千円
交付金額	3, 037 千円

地域の実情と課題

当町は、奈良県の北西部に位置し、大阪市内への利便性が高く、県外就業率が県内2位となっている。このエリアの拠点となる王寺駅は、県内屈指のターミナル駅である。駅前には多くの事業者が集積し、その主な事業者は第3次産業で、全体の約90%を占めている。この第3次産業事業者には中小企業、小規模事業者が多く、IT化の遅れが見られるが、IT技術を有する人材が不足している状況である。

事業の特徴

デジタル田園都市構想事業で、王寺駅前の地方銀行跡地にテレワークオフィス（テレワークオフィス、ITプログラミング教室、ビジネスマッチング）を開設。利便性が高く、周辺には学童、一時託児、小規模保育園等もあり、子育て世代の母親が働きやすい環境にある。ここを拠点に、デジタル人材の発掘と育成を進め、駅前に集積する中小事業者（IT化の遅れている事業者）と連携しながら事業の活性化、地域経済の発展を目指すともに女性の就業・起業の機会と活躍の場を増やしていく。

事業の効果

初級コース15名募集のところ45名、中級コース15名募集のところ21名の応募があり、ニーズが高いことが証明された。
（目標：15名募集／20回講座の初級及び中級コースを開講する）

目的・目標

王寺駅前には中小事業者が多く、その規模ゆえIT技術を持つ人材が不足している。この問題を解消するため、事業者と連携し、デジタル人材の発掘・育成・活躍の場を創出する。また、商工会等と連携して中小事業者への就職や派遣等を行い、地域内で仕事を循環できる環境づくりを目的とする。

連携団体

奈良労働局、王寺町商工会と連携し、就業や起業の支援を行う。

今後の課題

応募人数が募集人数を大幅に上回ったため、令和7年度は初級を2コースに増やし、中級コースと合わせて3コース開催する。就職希望者にはビジネスマッチングを実施したが、受講内容が応募条件と合わなかった。今後の課題として、実際の就業、起業につながるよう、受講内容や企業の募集内容を検討する必要がある。

事業の概要

ビジネスの現場で役立つITスキルを身につける講座 PCやインターネットに関する一般知識から情報モラル、セキュリティ、コミュニケーションツールの活用方法を学んだのち、各受講生の興味や関心、既存のスキルを活かした個別対応カリキュラムにより収入を得るためのサービス設計を行い、スキルアップを図る。オンラインによるアーカイブ配信を導入。地域の事業者連携を活用し、デジタル人材の発掘・育成、そして活躍の場を創出することを最終的な目標とする。

▶令和6年10月5日～令和7年3月1日の間に20回開催
初級コース・ 中級コース 各コース定員15名
選考基準： 再就職を希望されている25才から44才を重視

カリキュラム（初級）

- 第1回 オリエンテーションとIT基礎知識
- 第2回～第3回 Word
- 第4回 Excel
- 第5回～第8回 関数
- 第9回 Excelでの資料作成・印刷
- 第10回 グラフ作成
- 第11回 データ集計
- 第12回 前半まとめ：本格的なデータシートを作ろう！
- 第13回 情報セキュリティーとメール
- 第14回～第16回 Excel VBA
- 第17回 Google検索とAIを使ってみよう！
- 第18回～第19回 PowerPoint
- 第20回 企業との就業・起業にむけたビジネスマッチング

